

国語科学習指導案

児 童 1名

指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 まとまりをとらえ、段落のつながりに気をつけて読もう

教材名「サクラソウとトラマルハナバチ」 (光村図書)

2 単元の構成

(1) 教材について

本教材は、「サクラソウ」「トラマルハナバチ」の生活や生態について述べられている。虫が好きな本児は、興味と意欲をもって学習に取り組むことができると考える。

また、文章は、問いかけの文「どうして～でしょう。」「なぜ～でしょう。」や、接続語「まず」「次は」「また」「つまり」など、既習事項の読みの手がかりとして読み進めることができ、読みの視点に沿って事実の相互関係を読み取っていくのに適した教材である。

さらに、文章全体の構成は、「問題提起」「問題解明」「まとめ」の三つであり、文章のまとまりに気づかせていく初期の段階においては、適したものであると考える。

これらのことから、文章の要点を掴み、段落相互の大まかなまとまりを掴む学習には本教材は適していると考ええる。

なお、本教材は、最終段落に筆者の主張が明確に記されており、自分たちの生活に照らし合わせて、要旨について5年生では学習するが、本学級では、児童の実態から取り扱わないものとする。

(2) 児童について

(省略)

(3) 指導にあたって

単元の導入では、本児の語彙の少なさを考慮し、読み取りの妨げにならないよう、単語の意味調べにしっかりと取り組めるようにする。

内容の読み取りでは、一つ一つの段落内容を理解できるように、花と虫の関係をそれぞれ視覚的に表しながら、それらの操作活動を取り入れていく。また、段落相互の関係をとらえやすくするために、段落ごとに要約したものを短冊状のカードにし、まとめられるようにする。

単元の最後には、指示語や接続語の意味の理解や使い方の定着を図るために、短文作りを取り入

れる。

なお単元計画は、本児の実態から文章構成にとらわれずに、時間内で読み取れる量で区切って立てる。

3 単元の目標

- (1) サクラソウやトラマルハナバチに興味をもち、それらをとりにく環境や条件に気をつけながら、文章を正しく読む。
- (2) 段落ごとの内容とそのつながりに着目しながら読み、大きなまとまりと相互の関係をまとめる。

4 単元の指導計画と評価規準（全16時間）

段階	時	主な活動内容	関心・意欲	読み・書き	言語事項
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体を通して、大まかな内容をつかむために音読をする。 ・新出漢字や語句の意味を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についての関心をもち、読もうとしている。〈音読〉 		<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を正しく読む。 ・辞典を使い、言葉の意味を調べる。〈ノート〉
	2				
ふかめる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに内容について正確に読み取り、要約する。 「絶滅が心配されるサクラソウ」 (①段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心となる「サクラソウ」の絶滅のなぞや、書かれている内容に関心をもち、読み取ろうとしている。〈発言、ノート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文を正しく視写する。 ・題の言葉や繰り返し出てくる言葉、文末に着目する。 ・「サクラソウ」と「トラマルハナバチ」の関係を読み取る。〈ノート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いかけの文、文末表現、指示語、接続語の意味を理解する。〈ノート〉 「どうして～でしょう。」
	4	「おしべの花粉がめしべにわたされる受粉」 (②段落)			「まず」
	5	「受粉の仲立ちをしているトラマルハナバチ」 (③段落)			「こうして」「～のです。」
	6 本時	「確実に花粉をわたしてもらえる工夫」 (④段落)			「一つは」「もう一つは」
	7	「花に合った暮らし方や体のつくりをしているハチ」 (⑤段落)			「そのような」
	8	「強い結びつきを築いてきた花とハチ」 (⑥段落)			「こうして」「よい協力者」「強い結びつき」
	9	「いなくなったトラマルハナバチ」 (⑦段落)			「実は」「なぜ～でしょう。」「次は」
	10	「トラマルハナバチの一家の歴史」 (⑧段落)			「春先」「初夏」など季節を表す

				言葉
	11	「植物とネズミが必要なトラマルハナバチ」 (⑨段落)		「このように」 「また」
	12	「生き物たちの全体を守ることが必要」 (⑩段落)		「このように」 「つまり」 「つながり合っている」
ひろげる	13	・段落相互の関係をつかむ。		・文章全体の構成をつかむ。 〈ノート〉
	14	・短文作りをする。	・短文作りをしようとする。 〈ノート〉	・接続語を使って短文を作る。 〈ノート〉
	15 16	・単元を通しての感想を書く。	・単元を振り返って感想を書こうとする。〈ノート〉	・自分の生活に生かすことを盛り込みながら感想を書く。〈ノート〉

5 本時の指導

(1) 目標

- ・4段落の内容からサクラソウの二つの工夫を読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

本児童の特性として集中力の持続時間が短いことがあげられる。そこで、活動に集中して取り組めるようにするために、1単位時間内の学習内容に漢字テストを取り入れながら変化をもたせていきたい。

マンツーマンの指導であるため「学び合い」はできないが、教師の正誤についての表情や応答に敏感に反応するので、自分の考えをしっかりともてるような反応をしていく。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問 ・児童の反応)	留意点 評価 (評価方法)
つかむ 10分	1 漢字テストをする。 2 前時の想起をする。 ・前時の内容 (受粉の仲立ちをしているトラマルハナバチ) について確かめる。 3 本時の学習課題を確認する。 ・課題をノートに視写する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">4段落の内容を読み取ろう。</div>	・単元終了までに確実に書けるように、毎時間テストを行い定着を図っていきたい。 ・想起できるように、前時のノートを見るよう指示する。 ・課題が理解できるよう、ノートに視写することを指示する。

<p>ふ か め る 30 分</p>	<p>4 課題解決の見通しをもつ (1) 本文(4段落)を読みながら、内容の 大体をつかむ。</p> <p>○④段落は、何について書いてありますか。 ・サクラソウの工夫について書いてある。</p> <p>○工夫はいくつ書いてありますか。 ・二つあります。</p> <p>(2) まとめの文の書き方を知る。</p> <p>5 課題を解決する (1) 重要語句にサイドラインを引く。 ・サクラソウ ・一つは ・もう一つは</p> <p>(2) 二つの工夫について読み取る。 ◎それぞれの工夫について、詳しく調べて みましょう。 ・一つは、開花の時期です。 ・もう一つは、花の形です。</p> <p>6 課題についてまとめる。 ○課題についてのまとめをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>サクラソウは、開花の時期と花の形の工 夫をしている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の時、イントネーションが正しくない 時には、手本を示し、正しく音読できるよ うに繰り返しを指示する。 ・「サクラソウ」としか答えない時は、主語 や述語に注目させ、その何について書いて あるのかを訊ねる。 ・見通しがもてるように、黒板にまとめ方を 穴埋めの形で提示する。 ・語句を含む文に引いたときは、言葉一つ一 つに注目するよう指示する。 ・二つの工夫について書けるように、書き方 の手本を提示する。 ・見つけられない時は「一つは」「もう一つ は」に着目して書くよう指示を付け加える。 ・まとめに生かせるように、「開花の時期」 「花の形」言葉を赤ペンで囲むよう指示す る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A 評価 「同じ仲間の花に花粉をわたす」と いう目的についても書いている。 〈ノート〉</p> <p>C の場合の支援 赤ペンで囲んだ言葉を使ってまとめ に使うことを指示する。</p> </div>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 学習の振り返りをする。 (1) 授業の感想をノートに書く。</p> <p>6 次時の確認をする。 (1) 次時は⑤段落の学習をすることを 知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を味わえるように、感想について称 揚する。

《自己評価の観点》

- 課題を解決することができたか。
- 今日の勉強は楽しかったか。その理由はなぜか。

(4) 主な発問と板書計画

5年「サクラソウとトラマルハナバチ」(4/16 時間目)	指導者 ○ ○ ○ ○
<p>本時の指導</p> <p>(1) 目標</p> <p>④段落の内容からサクラソウの二つの工夫を読み取ることができる。</p> <p>(2) 指導にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に集中して取り組めるようにするために、1 単位時間内の学習内容に変化をもたせる。 ・自分の考えをしっかりとめるような反応（揺さぶりをかけたりわざと間違えなど）をしていく。 	
<p>○課題についてのまとめをしましょう。</p> <p>◎それぞれの工夫について、詳しく調べてみましょう。</p> <p>○工夫はいくつ書いてありますか。</p> <p>○④段落は、何について書いてありますか。</p>	<p>主発問</p>
<p>二つの工夫</p> <p>開花の時期—少し早い</p> <p>花の形—深いところにみつをためる</p> <p>まとめ</p> <p>サクラソウは、開花の時期と花の形の工夫をしている。</p>	<p>板書計画</p> <p>サクラソウとトラマルハナバチ</p> <p>鷲谷いずみ</p> <p>課題</p> <p>④段落の内容を読み取ろう。</p> <p>サクラソウは</p> <p>同じ仲間の花に確実に花粉をわたしてもらえようといくつかの工夫している。</p>